

2022年4月10日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第64巻第54号(通算3282号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

かみさま ひと とも
神様がすべての人と共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

丈夫な人には医者はいらないが、具合の悪い人には、必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

しゅうろ しゅじつれいはい 棕櫚の主日礼拝

じゆなんせつ だい しゅじつれいはい (受難節(レント) 第6主日礼拝)

れいはい
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 24編 3-6節

さんび か ばん にな じゅうじか せつ
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1-3節のみ) (©JASRAC)

しょうとう ことば
消灯の詞

さんび か ばん にな じゅうじか せつ
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(4-6節のみ) (©JASRAC)

せいし しょ ふくいんしよ しょう せつ
聖書 マルコによる福音書 11章 1-11節

いの
お祈り

さんび か ばん しゅ お ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-510番「主よ、終わりまで」(©著作権消滅)

メッセージ 「表通りの子ろば」 水谷 憲 牧師

さんび か ばん しゅ み
賛美歌 21-529番「主よ、わが身を」(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物 (*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ぶく みづたに けん ぼくし
祝福 水谷 憲 牧師

こう そう ばん ちよさくけんしやうめつ
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こ べーじ さんしやう
報告 (4頁をご参照ください)

となり かんかく せき すわ れいはい さんか
《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 24 編 3-6 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

³ 誰が主の山に上り / 誰がその聖所に立つのか。

⁴ 汚れのない手と清い心を持つ人。 / 魂を空しいものに向けず / 偽りの誓いをしない人。

⁵ その人は主から祝福を / 救いの神から正義を与えられる。

⁶ これこそ、主を尋ね求める ^a 人々 / ^b ヤコブの神の御顔を求める者。

(脚注 a : 直訳「世代」、

b : LXX による。ヘブライ語原典では「あなたの顔を求める者、ヤコブ」)

消灯の詞 (参照：ヨハネによる福音書 19 章 18~19 節)

司式者 イエス様はゴルゴタで十字架につけられました。

みんな イエス様を真ん中に他の二人も十字架につけられました。

司式者 十字架の上には、罪状書きがかけられました。

みんな 「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」と書いてありました。

聖書 マルコによる福音書 11 章 1-11 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ 一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山に面したベトファゲとベタニアにさしかかったとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、² 言われた。「向こうの村へ行きなさい。村に入るとすぐ、まだ誰も乗ったことのない子ろばのつないであるのが見つかる。それをほどいて、連れて来なさい。³ もし、誰かが、『なぜ、そんなことをするのか』と言ったら、『主がお入り用なのです。すぐここにお返しになります』と言いなさい。」⁴ 二人は、出かけて行くと、表通りの戸口に子ろばがつないであるのを見つけたので、それをほどいた。⁵ すると、そこに居合わせた人々が、「その子ろばをほどいてどうするのか」と言った。⁶ 二人が、イエスの言われたとおりに話すと、許してくれた。⁷ 二人が子ろばをイエスのところに連れて来て、その上に自分の上着を掛けると、イエスはそれにお乗りになった。⁸ 多くの人が自分の上着を道に敷き、また、ほかの人々は野原から葉の付いた枝を切って来て敷いた。⁹ そして、前を行く者も後に従う者も叫んだ。

「ホサナ。 / 主の名によって来られる方に / 祝福があるように。

¹⁰ 我らの父ダビデの来るべき国に / 祝福があるように。 / いと高き所にホサナ。」

¹¹ こうして、イエスはエルサレムに着いて、神殿の境内に入られた。そして、周囲を一瞥した後、すでに夕方になったので、十二人を連れてベタニアへ出て行かれた。

《先週のメッセージより》2022年4月3日 受難節第5主日礼拝

「道との遭遇」

岡嶋 ^{ちひろ}千宙 伝道師 (向島 ^{むかいじま}伝道所)

聖書 イザヤ書 43章 16-21節

「先にあったことを思い起こすな。昔のことを考えるな。私は新しいことを行う」(18-19節)。苦しみのイエスを覚える受難節に与えられた御言葉として、この箇所に触れるとき、とても重要な問いを投げ掛けられているように思えます。神のひとり子であるイエスの姿を固定化してはいないだろうか？

イエスは、同時代に生きていた多くの人たちが当たり前とする事柄を、大胆に打ち崩していきました。ガチガチに凝り固まった宗教理念、教理・教則、あるいは信仰実践のあり方を痛烈に批判しました。固まりすぎて、身動きがとれなくなって、当時の社会の今を生きる人々に、命の流れをもたらしことのできなくなった宗教・信仰に「否」を突きつけました。そのイエスを、わたしたちが「自分の知っている・これまで通りの」姿にとどめておこうとするのなら、わたしたちは、当のイエスによって批判された人々のように、大きな誤りを犯してしまうこととなります。決して干上がることなく、永遠にあふれ出る命の水であるイエス(例.ヨハネ福音書4章)がもたらす救いの流れを、せき止めてしまうのです。

イエスの苦しみを覚える、その苦しみに思いをはせる、というのは、わたしたちの思いによってがんじがらめにされ、動きがなくなり、命の流れではなくなってしまっているイエスを、解き放つことなのではないでしょうか。わたしたちの知っているイエスではなくて、わたしたちの知らないイエスに出会い続けていく。イエスの、まだ見ぬ新しい一面に触れていく。「わたしは道である」(ヨハネ福音書14章6節)と語ったイエスの「未知」の部分にこそ目を向けていく。

2週間後のイースター。そこで出会うイエスはどんな姿をしているのでしょうか。命の力に満ち溢れ、その力を水の流れとして溢れ出させているイエスに出会い、その姿に、これまでに覚えたことのなかった驚きを抱き、そして喜び、祝福できることを願います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 4月3日 受難節第5主日礼拝

礼拝出席 大人 7名 中継動画再生数 17回

献金 大人 6,000円 感謝

さんが初めて来会されました。どうもありがとうございました。

◎次週 2022年4月17日(日) イースター(復活日) 礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は3/2~4/16です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 詩編 68編 20-21節(*礼拝はインターネットで中継配信いたします)

聖書 使徒言行録 5章 29-32節

受難と復活の物語「ガリラヤで会える」

賛美歌 21-290番(©JASRAC)、21-280番(©JASRAC)、21-306番(©P.D.)、

21-333(©教団出版局)、21-331番(©JASRAC)、「闇から光へ」(©JASRAC)

新型コロナ感染予防のために、礼拝後の「愛餐会(昼食会)」はございません。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染は依然として続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・大阪教区総会は、5月3日(火)・4日(水)それぞれ13時~18時にかけて、大阪女学院ホールチャペルにて開催される予定です。最終的な開催方法の確定は明日4月11日の大阪教区常置委員会で決定されます。
- ・5月8日(日)午後2時から、服部緑地に隣接する服部霊園(豊中市広田町1-1)内にある大阪教区墓地にて、墓前礼拝を行います。

◎公告

本日の礼拝後に、2022年度定期教会総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況が収束しておりませんので、先週の「教会を考える会」にて、昨年度と同様に書面決議にすることに変更いたしました。教会員の方々には、郵送・Eメール等で議案書をお送りいたしましたので、同封されている「議決権行使書」にご記入の上、4月23日(土)必着で、郵送・FAX・Eメール等でご提出ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
4/24	岡嶋伝道師	誕生者祝福式・おにぎり支援 (第二好意の庭・感謝祝福式)
5/1	牛田牧師	ユーカリスト・教会を考える会
5/8	水谷牧師	家族の日礼拝・(愛餐会は無し) (14時から、服部墓地墓前礼拝・納骨式)
5/15	岡嶋伝道師	聖書を読む会?

